

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

平成31年HP 2月のきごころ通信 (先月の話題)

目次

- (1)  新成人 2年ぶり増 今年 125 万人に 亥年生まれは 1055 万人
- (2)  0歳より1歳の定員増を 学習院大教授 鈴木亘氏
- (3)  富裕層 126 万世帯に増加
- (4)  救急車出動 最多を更新 2017年、5秒に1回
- (5)  路面電車 軌道乗る 5年で乗客5%増
- (6)  訪日客消費が最高 昨年2%増4.5兆円 1人あたりは横ばい
- (7)  阪堺電気軌道 廃線危機超え 延伸構想
- (8)  癌新規患者99万人 2016年、大腸がん最も多く
- (9)  手形電子化 1割どまり 中小企業 コストが壁
- (10)  「70歳以上まで働く」3割 老後に不安も
- (11)  「仕事に満足」理由は 女性は「勤務時間」がトップ
- (12)  企業主導型の保育所 利用率6割止まり
- (13)  運転手不足 建設現場も 資材輸送遅れ 五輪向け工事に影響
- (14)  運送会社、眠る車シェア 物流の人手不足 配送融通で緩和
- (15)  ヒットのくすり 消費者が待つ「半歩先」
- (16)  関空旅客 最高の2894万人
- (17)  意外と痛い 医療費加算 夜間・休日 特に注意
- (18)  不動産売買 急ブレーキ 昨年下半年、取引額34%減
- (19)  キャッシュレス 地方に広がる 中国や北海道 2割に迫る
- (20)  大坂折れず 成熟のV 世界ランク1位に
- (21)  移住者数、10年で4割増 外国人受け入れ成長
- (22)  次世代住宅 連携狙う
- (23)  汚職「清潔度」日本18位 昨年版、やや改善

(1) 新成人 2年ぶり増 今年 125 万人に

亥年生まれは 1055 万人

- ・ 2019年1月1日時点で20歳の新成人は125万人で、2018年より2万人増。増加は2年ぶり。男性64万人、女性は61万人。
- ・ 新成人が総人口に占める割合は0.99%で、9年連続で1%を割りました。
- ・ 総人口を十二支別でみると、丑年生まれが1087万人で最も多く、子年が1071万人で続きました。亥年生まれは7番目。

(2019年1月1日 日本経済新聞より抜粋・引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(2) 0歳より1歳の定員増を 学習院大教授 鈴木亘氏

- ・預けたいなら保護者の最適行動は0歳からの保活ですが、東京都内の認可保育所で預かるコストは1人で月40万円かかります。
- ・保護者が実際に払う保育料は10分の1程度で、残りは公費。
- ・認可保育所は0歳の定員を減らし、1歳を多く預かれるようにしてはどうでしょうか。
- ・1歳で入りやすくなれば、0歳のうちは安心して育児休業を取れます。
- ・長期的には待機児童が増える可能性があります。
- ・無償化で保育料を徴収できなくなると、自治体は整備に回せるお金を集めにくくなります。
- ・保育の質を確保することを前提に、保育士のうち2〜3割については研修を受けた無資格者で代替できるようにしてはどうでしょうか。

(2019年1月8日 日本経済新聞より抜粋・引用)



(3) 富裕層 126万世帯に増加

- ・日本で1億円を超える純金融資産を持つ世帯の数は、2017年に126.7万人。
- ・2015年の前回調査時に比べると5万世帯増えています。
- ・うち118.3万は、資産1億円以上5億円未満の富裕層。2015年から3.9万増。
- ・5億円を超える超富裕層は、8.4万世帯で、同0.9万増。
- ・富裕層の資産総額は215兆円、超富裕層は84兆円。2015年からそれぞれ9.1%、12%増。(2019年1月12日 日本経済新聞より抜粋・引用)

(4) 救急車出動 最多を更新 2017年、5秒に1回

65歳以上が58%

- ・2017年の救急車の出動件数が2016年比で2.1%増の6,342,147件となり、過去最多を更新。
- ・2009年以降、9年連続で伸び、5秒に1回のペースで出動。
- ・搬送者の58.8%が65歳以上。
- ・搬送者数も2016年より2.0%多い5,736,086人。うち約半数が入院を必要としない軽症。
- ・119番通報から、けが人や病人を病院に搬送するまでの時間は平均39.3分で、1997年と比べ13.3分長くなりました。

(2019年1月14日 日本経済新聞より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(5) 路面電車 軌道乗る 5年で乗客5%増

「人呼ぶインフラ」再評価

まちづくりの主軸 高齢者に優しく 観光の目玉に

- ・市街地の道路上に敷いた軌道を走る路面電車が復権。
- ・町中に人を呼び込むインフラとして再評価。
- ・全国にある19事業者の2017年度の乗客数は2012年度に比べて5%増。

各地で成功事例相次ぐ

- ・日本の路面電車は、1895年（明治28年）に営業を始めた京都市から全国に拡大。
- ・1932年（昭和7年）には、65都市、82事業者、1479kmで路面電車が走りました。
- ・全国の路線距離は、2013年（平成25年）に約206kmと最盛期の7分の1に。
- ・低床で乗り降りしやすい次世代型路面電車（LRT）が注目を集めます。
- ・1km当たりの導入費用は、地下鉄の10分の1程度で済む低コストの輸送手段。
- ・動脈（路面電車）と毛細血管（バス）を整備し、高齢者が市街地に出てきてもらう政策を。

（2019年1月16日 日本経済新聞より抜粋・引用）



(6) 訪日客消費が最高 昨年2%増4.5兆円 1人あたり

は横ばい

- ・2018年の訪日客数は、前の年と比べて8.7%増の31,191,900人と、7年連続の増加。
- ・最も多い中国からの訪日数が13.9%増の838万人。
- ・消費額も5年でおおよそ3倍に。
- ・2018年は飲食費が9758億円と前年比10%増。
- ・消費額の35%と最も多い買い物代は、1兆5654億円と2017年より4.5%減。
- ・2018年の1人当たりの消費額は153,000円。
- ・「爆買い」が落ち着き、訪日客数の増加も緩やかに。

（2019年1月17日 日本経済新聞より抜粋・引用）



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(7) 省エネ設備共用 容積率を緩和 国交省が特例検討 街全体で環境対策

- ・国土交通省は街全体のエネルギー効率の引き上げに乗り出します。
- ・効率が良い発電や熱供給の設備を複数の建物が共同で利用する計画に対し、設備を置く建物の容積率を緩和する特例を設けます。
- ・オフィスなど業務部門のエネルギー消費量は増加の一途。1990年と比べて現在は4割近くも増えました。
- ・建築物の延べ床面積の10%超を上限に、発電・熱供給設備の設置面積分を容積率の計算に参入しないようにします。

(2019年1月17日 日本経済新聞より抜粋・引用)



(8) 阪堺電気軌道 廃線危機超え 延伸構想

- ・大阪市と堺市を走る阪堺電車は、大阪府で唯一残る路面電車。
- ・前身は1897年(明治30年)設立の馬車鉄道で、現在は南海電気鉄道の子会社、阪堺電気鉄道が運営。
- ・1980年(昭和55年)、大阪市の地下鉄の延伸開通の伴い、主力路線が廃止に。
- ・約10年前、特に厳しい廃線を検討。
- ・沿線住民の存続陳情を受け、堺市は2011～2020年度に50億円の経営支援を決定。
- ・2017年度の年間乗客数は819万人。2010年度に比べて12%増えました。
- ・今や廃線危機を乗り越え、延伸構想が浮上。
- ・恵美須町から日本橋・堺筋を通って、なんばの高島屋付近まで伸ばす計画。
- ・「日本橋にトラム(路面電車)を通してにぎわいを進める会」が大阪市議会に陳情書を提出。

(2019年1月17日 日本経済新聞より抜粋・引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(9) 癌新規患者99万人 2016年、大腸がん最も多く

- ・2016年に新たに癌と診断された患者数は、延べ995,132人。
- ・癌は日本人の死因第1位。
- ・2016年に新たに癌と診断されたのは男性が約56万6千人、女性が約42万8千人。

2016年の癌の部位別罹患患者数(人)

順位	総数		男性		女性	
1	大腸	158,127	胃	92,691	乳房	94,848
2	胃	134,650	前立腺	89,717	大腸	68,476
3	肺	125,454	大腸	89,641	胃	41,959
4	乳房	95,525	肺	83,790	肺	41,634
5	前立腺	89,717	肝臓	28,480	子宮	28,076

・男女を合わせた全部位の罹患率が最も高かった都道府県は長崎。次いで秋田、香川、北海道、宮崎の順。

(2019年1月17日 日本経済新聞より抜粋・引用)

(10) 手形電子化 1割どまり 中小企業 コストが壁 導入10年、利用進まず

- ・企業が振り出す「紙の手形」が無くなりません。
- ・「電子手形」を始めて10年以上がたちますが、紙の流通枚数の1割にとどまります。
- ・2013年に全国銀行協会が共通基盤のシステム「でんさいネット」を開始。
- ・紙の手形の年間発行枚数は2125万枚。
- ・でんさいネットで2018年に企業が電子手形発行を請求した件数は266万件。

中小企業は電子化でコストが増える場合もある

100万～10万の手形を12枚振り出した場合 単位は円

	紙の手形	でんさい	差額
人件費	9148	5703	-3445
手形の用紙交付手数料	384	0	-384
でんさいの手数料	0	7228	7228
印紙代	2400	0	-2400
合計	11932	12931	999

(2019年1月18日 日本経済新聞より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこゝろ、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(11) 「70歳以上まで働く」3割 老後に不安も

日経郵送世論調査

- ・何歳まで働くつもりかを聞くと、平均 66.6 歳。
- ・高年齢雇用安定法では、希望者全員を 65 歳まで雇うよう義務付け。
- ・回答者を 60 歳代に限ると、平均は 69.2 歳。70 歳以上まで働く意欲のある人が 45%。
- ・年収別では、低いほど 70 歳以上まで働く意欲のある人が多い傾向。
- ・300 万円以上 500 万円未満の人は 32%、300 万円未満は 36%。
- ・老後に不安を感じている人は 77%。
- ・理由で最も多いのは「生活資金など経済面」。
- ・全体では健康への不安が 71%で最も多く、経済面が 69%。
- ・老後に向けての準備は、「生活費など資金計画」46%で最多。「健康づくりなど予防活動」が 41%、「具体的な貯蓄・資産運用」が 33%。
- ・将来の生活に必要なお金を得るための取り組みとして、最も多かったのは「預貯金」で 59%。「長く働くための技術向上」も 13%。
- ・いま幸福かどうかを 10 点満点で聞いたところ、平均は 6.4 点。既婚者で子供が小さい世帯ほど点数が高い結果です。

(2019 年 1 月 21 日 日本経済新聞より抜粋・引用)



(12) 「仕事に満足」理由は

女性は「勤務時間」がトップ 日本生命 2018 年 10 月調査

- ・仕事への満足度は、男女とも 7 割前後。男性 69.8%、女性 70.4%。
- ・理由は、女性は「勤務時間」が 42.1%でトップ、「自分のやりたい仕事」が 38.9%。
- ・男性は「勤務地」が最多で 33.4%、次いで「職場の雰囲気」29.9%。
- ・1 日の勤務時間は、女性は 7.4 時間で、男性は 9.0 時間。

(2019 年 1 月 21 日 日本経済新聞より抜粋・引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(13) 企業主導型の保育所 利用率6割止まり

昨年度末 3歳児以上が低く

- ・企業主導型保育所の利用状況は、2018年3月末時点での定員に対する充足率は約61%。0~2歳児では72%でしたが、3歳児以上では22%でした。
 - ・2018年3月末時点での施設数は1420、定員数は29,461人。
- (2019年1月22日 日本経済新聞より抜粋・引用)



(14) 運転手不足 建設現場も 資材輸送遅れ

五輪向け工事に影響 特殊技能必須 育成に時間

- ・建築資材を運ぶ運転手が足りず、モノが工事現場に届かず工事遅れも一部で出始めました。
 - ・2018年半ばからは、希望の時間に車両がそろわない事例が増えました。
- 賃上げしたが・・・
- ・運輸業界での人手不足への認識は2017年から広がり、宅配分野を中心に配達時間や配送料金の見直しが広がりました。
 - ・運送会社でも運賃改定や運転手の待遇改善が進みます。
 - ・大型トラックの運転手の求人は、契約社員でなく正社員での募集が増えていきます。
 - ・2018年12月の求人数は、3年前に比べ3.8倍に。

ゼネコンも一因

- ・ゼネコンによる納期予定の変更も輸送力不足に拍車をかけます。
- ・納期直前に予定を変える「変更率」は2018年上期で17.7%。2015年の12%程度から大きく上昇。
- ・職人や部材不足が理由で、現場での工程遅れが発生。
- ・建設工事需要は高水準が続きますが、一部の資材の搬送遅れが工期全体を狂わします。

(2019年1月25日 日本経済新聞より抜粋・引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(15) 運送会社、眠る車シェア 物流の人手不足 配送

融通で緩和 ラスクルの交流サイト 大手参加

- ・IT企業のラスクルが開発した空車情報などを共有するシステム。
- ・運送会社が自社の受注案件や空車情報を登録して、別の運送会社と共有。
- ・運転手や車両が足りない場合に、別の運送会社に配送を委託することが可能。
- ・国内には約6万の運送会社があり、99%を中小企業が占めます。
- ・現状、貨物トラックの積載効率は40%前後と低迷。

(2019年1月25日 日本経済新聞より抜粋・引用)



(16) ヒットのくすり 消費者が待つ「半歩先」

- ・消費者の2歩、3歩先を行っても売れません。半歩先は評価されます。
- ・家計の消費支出に占める飲食費の割合を示すエンゲル係数は豊かさと共に低下しますが、今や高まる時代。

(2019年1月25日 日本経済新聞より抜粋・引用)



(17) 関空旅客 最高の2894万人

2018年、訪日客は7%増

- ・関西国際空港の総旅客数は前年比3%増の2894万人と、年間で過去最高を更新。
- ・国際線は6%増の2243万人。そのうち外国人旅客数は7%増の1528万人と過去最高。
- ・2018年の国内線旅客数は5%減の650万人。
- ・大阪国際（伊丹）空港も2018年の国内旅客数は4%増の1618万人。
- ・神戸空港は2%増の318万人。
- ・3空港全体でも総旅客数は、3%増の4830万人と過去最高を更新。

(2019年1月26日 日本経済新聞より抜粋・引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(18) 意外と痛い 医療費加算 夜間・休日 特に注意

- ・診療時間外の加算としては、「時間外」「休日」「深夜」の3つ。
- ・紹介状なしで大学病院など大規模な病院に行く場合も、初診料以外に特別料金がかかります。特別料金は5000円以上が一般的で、助成の対象外。
- ・薬局で薬をもらう場合も、時間外や休日などに加算があります。
- ・時間外は調剤技術料と同額が加算され、休日は調剤技術料の1.4倍が加算されます。
- ・接骨院で健康保険を使う場合には、骨折や脱臼で応急手当の場合を除き、予め医師の同意が必要。
- ・はり・きゅう・マッサージなども医師の同意書や診断書が必要。



☆早朝や夜間、休日の診療には加算がつく

※6歳から70歳未満は金額の3割負担。時間は代表的な例

	病院・診療所（初診）	病院・診療所（再診）
早朝・夜間加算（診療所のみ） 18時～翌8時、土曜は正午～	500 円	500 円
時間外加算 おおむね8時前と18時以降、 土曜日は8時前と正午以降	850 円	650 円
休日加算 日曜・祝日・年末年始	2500 円	1900 円
深夜加算 22時～翌6時	4800 円	4200 円

☆診療所を変えると再び初診料がかかる

同じ診療所で受診		3回目に診療所を変更	
1回目初診料	2820 円	1回目初診料	2820 円
2回目再診料	720 円	2回目再診料	720 円
3回目再診料	720 円	3回目初診料	2820 円
合計	4260 円	合計	6360 円

☆調剤基本料は薬局によって異なる

門内薬局	門前薬局	門外薬局
病院と同じ敷地内にある薬局	病院のすぐ近くにある薬局	街中にある一般的な薬局
100 円	150～250 円	410 円

（2019年1月26日 日本経済新聞より抜粋・引用）

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(19) 不動産売買 急ブレーキ

昨年下期、取引額34%減 海外勢が高値警戒

- ・高水準だった国内の不動産売買に減速感。
- ・2018年7～12月の取引額は1兆7290億円と前年同期に比べ34%減。6年ぶりの低水準。
- ・海外勢による購入は、1年前は全体の3割強を占めましたが、2018年下期は919億円と前年同期から9割減少。
- ・昨年後半にかけ物件が減り始め、出回る案件も高額すぎて採算が合わないようです。

(2019年1月27日 日本経済新聞より抜粋・引用)

(20) キャッシュレス 地方に広がる

中国や北海道 2割に迫る 地元店、顧客つなぎとめ

地域別のキャッシュレス比率		
地域	2018年の比率 (%)	2014年比の上昇幅(ポイント)
関東	21	4
中部	18	5
北海道	18	7
中国	18	9
東北	16	3
四国	15	5
近畿	14	3
九州	14	5
北陸	14	5

(2019年1月27日 日本経済新聞より抜粋・引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(21) 大坂折れず 成熟のV 世界ランク1位に 2時間半の激闘制す

・大坂は最大の課題に掲げる成熟を「思い通りにいかない状況を受け入れる力」と。

- ・勇気、忍耐、反発力、1球への執念、少しの運、そして成熟。
- ・この日の大坂は勝者に必要なすべての資質を備えていました。

(2019年1月27日 日本経済新聞より抜粋・引用)



(22) 移住者数、10年で4割増 外国人受け入れ成長

・世界の移住（駐在員や難民などを含む）の数は、2015年時点で約2億4千万人。

- ・10年前に比べて27%増えました。
- ・増加率が最も大きかったのはアジア。7508万人と同期間で4割増。
- ・東南アジアや中東への移住が特に伸びました。

(2019年1月30日 日本経済新聞より抜粋・引用)



(23) 次世代住宅 連携狙う

スタートアップ向け説明会 パナソニック

・パナソニックは、住宅と家庭内の電気機器をインターネットでつなぐプラットフォーム「ホームX」の運用開始に先立ち、スタートアップ企業向けの説明会を開催。

・2019年春開始のホームXは、部屋ごとに操作のタッチパネルを置きます。ネットにつないだ照明や空調、給湯器をタッチパネルを通じて管理できます。

(2019年1月31日 日本経済新聞より抜粋・引用)

(24) 汚職「清潔度」日本18位 昨年版、やや改善 首位はデンマーク

- ・世界の汚職を監視する非政府組織は、2018年版「汚職指数」を発表。
- ・日本の清潔度は、180カ国・地域中18位で、前年の20位から改善。
- ・首位は前年2位のデンマーク、最下位は12年連続でソマリア。
- ・米国は22位に後退。
- ・前年首位のニュージーランドは2位。シンガポールが3位、香港は14位。

(2019年1月31日 日本経済新聞より抜粋・引用)